

会 議 録

1 会議名

平成 30 年度 第 1 回上越市介護保険運営協議会

2 議事

<協議>

(1) 平成 29 年度の介護保険事業の状況について

- ・要介護認定の状況、新総合事業の取組について

(2) 平成 30 年度の介護保険事業について

- ・介護保険料、3 割負担、要介護認定の変更について
- ・上越市版オレンジプランの策定について

(3) 第 7 期介護保険事業計画期間における施設整備について

- ・ショートステイから特別養護老人ホームへの転換について
- ・認知症グループホーム、小規模多機能型居宅介護の公募について

(4) その他

- ・平成 30 年 10 月の委員改選について

3 開催日時

平成 30 年 4 月 26 日（木）午後 2 時 00 分～3 時 00 分

4 開催場所

上越市役所 木田庁舎 401 会議室

5 傍聴人の数

0 人

6 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委 員：五十嵐靖雄、飯吉令枝、小関こずえ、竹内明美、竹山貞子、松永剛、松本新一、堀川朋靖、藤澤典子、横田麻理子、渡邊貢、飯塚俊子、佐藤正孝、星野秀子、笹川正明、中村好男、山崎京子

（出席17人 欠席3人）

- ・事務局：八木健康福祉部長、横田高齢者支援課長、丸田副課長、細谷副課長、西山副課長、吉田係長、金井係長、槇島係長、小池係長、長谷川主事

7 発言の内容

1. 開会

2. 部長挨拶

3. 議事 <協議>

事務局： (1) 平成 29 年度の介護保険事業の状況について

<資料 1、2 に基づき説明>

質疑なし

事務局： (2) 平成 30 年度の介護保険事業について

<資料 3、4、5、6 に基づき説明>

小関委員： 上越市版オレンジプランを作るときに当事者の声をどのように聴くのか。

細谷副課長： 認知症初期集中支援チームのようにまだ診断を受けてない早い段階の方にも市ではアプローチさせていただいているので、そういった方からの声を反映していくことも大事であるし、また認知症疾患医療センターの若年性認知症の会などで、話を伺っていきたい。

小関委員： 認知症サポーター養成講座ですが、上越市でキャラバンメイトの有資格者はたくさんいると思うが、現状活動されている方がどれくらいいるのかが私たちは分からない。上越市ではキャラバンメイトの養成講座をここ 2 年くらいしていない。十日町市まで行ってキャラバンメイトの資格を取得した方もいる。キャラバンメイトの人数が増えても講座を開いていない方がたくさんいるので、上越市でキャラバンメイトが活動できるようなシステムができていないと駄目だと思うがどうか。

細谷副課長： まさにそれが今の課題である。キャラバンメイトは、認知症サポーター養成講座の講師となる資格をお持ちの方である。上越市全体では現在約 300 名のキャラバンメイトの登録があるが、実際に講師役となって活動されている方が 90 人程度になっている。また、新たにキャラバンメイトの資格を取りたいという方も大勢いるので、市でもキャラバンメイトの講座を開催するために、全国のキャラバンメイト登録事務局にお願いをしているが、昨年度、上越市は登録者数が多いので必要ないだろうとの話を受け

た。そこで市としては、今後キャラバンメイトの活動をしていくかどうかの意思を確認し、活動しない方にはキャラバンメイトの登録を抜けていただく取組をしているところである。今年度については、上越保健所がキャラバンメイトの養成講座を開催する予定になっているため、そちらを受講していただく予定としている。キャラバンメイトの育成についても昨年度と28年度は、小学生向けや今まで全く活動していない方に対して、どういった支援があったら活動できそうかという内容で、工夫してやっているという方を講師に研修会を行っている。

中村委員： 稲作ケアとは何か。

細谷副課長： 認知症の方や精神疾患をお持ちの方に対して、稲作を通じて仲間づくりをしたり、生きがいをしたりと役割を持たせたいということで行っている取組である。今年度も行っているが、5月の田植えから始まり、稲刈りまでを一つのスパンとして、毎週定期的に作業を行って、そこで地域の方も巻き込んで、稲作によって認知症や精神疾患が悪化しないようにというような取組を行っている。

中村委員： 現在どういう単位で行っているのか。

細谷副課長： モデル地域を作り行っている。市全域で広めるにはまだ難しいということと、全国的にこういった認知症施策の中で稲作ケアをやっているところがない。川室記念病院に来ている医師と東京都の研究員の先生が中心となり、そこを拠点に実施している。

竹山委員： 参加者は何人くらいか。

細谷副課長： 現在30人くらいで活動している。参加率は大体80%後半から90%くらいで、皆さん継続して参加をしていただいている状況である。

竹山委員： 資料4の65歳以上の1割負担、2割負担、3割負担の比率を教えてください。

横田課長： 直近のデータで1割の方が94%、2割の方が4~5%、3割の方が1~2%ほどである。

(3) 第7期介護保険事業計画期間における施設整備について

<資料7に基づき説明>

五十嵐会長： 小規模多機能型居宅介護を2施設、認知症グループホームを1施設整備することとした根拠を教えてください。

細谷副課長： 特別養護老人ホームの待機者調査から整備数の計算をしたときに、ショートステイから特別養護老人ホームへの転換26床を整備してもまだ不足が生じる部分について、小規模多機能型居宅介護及び認知症グループホームを新設させていただきたいということで決定をしたところである。

五十嵐会長： 第7期介護保険事業計画における施設整備の事務局案について、御異議はないか。

全委員： 異議なし

(4) その他

事務局： 10月19日で介護保険運営協議会の委員が改選となる。このメンバーで、介護保険運営協議会を行うのはこれで最後となる。昨年度の上越市第7期介護保険事業計画・第8期高齢者福祉計画の策定を始め、様々な意見をいただきありがとうございました。

8 問合せ先

健康福祉部高齢者支援課介護指導係 Tel025-526-5111（内線1645、1670）
E-Mail : kaigo@city.joetsu.lg.jp

9 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。